

モン太とつちまるの植物日記

「冬を越す卵たち」



広場には、たくさんの虫がいますが、冬を越すさまざまな卵や蛹（さなぎ）が見られます。建物の壁にはカマキリの卵、シラカシの葉には繭玉のような蛹が見られました。春になると、広場ではたくさんのカマキリが見られます。



平成29年2月17日撮影
カマキリの卵 貝層断面展示施設壁



平成29年2月17日撮影
シラカシの葉についたさなぎ 広場

2月から3月にかけては至る所でウメが満開となります。
考古資料館入り口にあるウメの花は、皆さんを満開で迎えています。



平成29年2月12日撮影
ウメ 資料館入口

